



## 「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」の

## 一部修正について提案を受ける！（その1）

4月24日、地本は昨年5月25日に提案された「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」の内容を一部修正する提案を受けました。

当時の提案内容は、2022年度  
TOKYO MAIL NEWS  
NO.321 をご覧下さい →



### 1 修正内容

2023年5月に提案を行った「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」で示した、「東京運輸区(仮称)」の設置は行わず、「東京統括センター(仮称)」の一担務として再編する。

### 2 修正理由

2024年4月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」で示した「統括センターの新設および管轄区分の見直し」を実施するため。

### 3 その他

具体的な実施日等については、2024年4月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」で示した通りとする。

### 組合

<提案時のやり取り> 以下、東京運輸区(仮称)は東京運輸区、東京統括センター(仮称)は東京統括センターとします。

### 会社

◆全体像を示して東京運輸区の修正を示した方が分かりやすいと言われたが、労使議論の問題である。2023年5月に提案を受け議論してきた。提案してきたものが今後どうなるのかを先に示すべきだ！

◆時間軸を持って進めていることを新たな施策によって変えていくことだと受け止めている。労使議論はしっかりやっていただきたい。

◆東京運輸区は基地再編として進めてきたが、今回は統括センター化で提案を受けている。施策自体が違う！

◆修正ではなく廃案ではないのか。

◆場所は変わらないが、そもそも今までの考え方と違うことを目指しているのではないか。

◆乗務員基地再編と統括センターの目的は違う。東京統括センターと同時期に業務移管することは、統括センター化の目的となるのではないか。

◆柔軟な働き方の提案で「丸の内運輸区は発足したばかりで変化点が大きいため実施時期をずらしている」と説明されたが、今回の内容は矛盾している。

◆主張は受けとめる。今回2件の提案の中で、統括センター化を示した上で、2023年5月に示した内容に変更が生じる為、この形が伝わりやすいと判断した。示す順番によって今までの議論を軽んじているということはない。どうやって提案するかは首都圏本部でも毎回考えている。

◆労使議論を形骸化するつもりはない。この間の議論も承知している。過去の議論がなくなるものではないし影響するものではない。指摘は会社としても受け止め最良のやり方は考えていく。

◆統括センター化しても基地再編の考えは変わらない。同時に進めている。

◆2023年5月に伝えている目的は変わらない。廃案は全てをゼロにするイメージであり、廃案ではない。

◆運転士と車掌が一つの箇所になるため再編と言っても差し支えない。田町運転区と東京車掌区が一緒になってその職場は東京統括センターになるので、今までの提案の修正である。

◆東京車掌区と田町運転区を一つにすることは今までの基地再編と同じである。

◆統括センター化の目的は先程伝えた通りで、基地再編の目的は2023年5月に提案した通りだが、実施時期が同じだから基地再編の考え方が無くなるわけではない。



## 「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」の

## 一部修正について提案を受ける！（その2）

組合

<提案時のやり取り・続き>

会社

◆施策が二つあって同時にやろうとするからわからない。**統括センター化を理由に東京運輸区を廃案すればわかりやすいのではないか。**

◆田町運転区と東京車掌区の業務移管の目的が伝えられていて、今回統括センター化の目的が語られれば、誰もが「統括センター化が目的だ」と受け止める。職場でWG 等が東京運輸区に向けて活動していると思う。今後何を目指していくのか。

◆行うことではなく、目的が変わっている。同時にやるメリットは基地再編に統括センターの目的を追加するからではないのか。実施後の働き方が分からないからこのような話になっている。

◆そうであるならば、**前段の提案で説明した実施時期の違いは訂正すべきだ。**

◆バランスは分かるが、前段の説明と今回やるのが違うと言っている。

◆基地再編の考えを度外視しているとした受け止められない。運転士と車掌が同じ乗務員だから一緒にして大丈夫とはならない。**発足してから落ち着くまでが一番大変だ。新たな組織や職場をつくるのであれば役割を最小化しないと事故・事象につながる。**

◆目的が先行していて、実際の社員がどのようにしていくのか理解しているのか。人間だから、直ぐに今まで通りのパフォーマンスが発揮できるわけではない。首都圏本部や現場も東京運輸区に向けて動いてきている。修正する重みは持っていると言っているが、経営の責任として行っている認識なのか。

◆その重みを**職場で語る管理者がいない。職場に目的が伝わらないといけない。**

◆目的も違うが、実施時期をずらす等発生してしまうので、首都圏本部として同時期にやりたい。**提案以降、議論内容や進んでいる部分もあり全てをゼロにできないので修正という形になっている。**

◆東海道線の安全・安定輸送は変わらない。東京統括センターの一担務となるので他の統括センター同様、営業との融合という側面はあるが、乗務ユニットが行うことは変わるものではない。

◆主張は理解する。繰り返しになるが、二つの職場を一つにすること、統括センター化だが、これをもって東海道部門について首都圏本部として時期をずらす考えはない。

◆**統括センター化にするにあたって、10月と3月にやるのが全体としてバランスが良いと考えた。**

◆丸の内運輸区は発足した職場で独自にオペレーションしている部分がある。会社としては同時に発足させ最初から形づくりをしていくと判断した。

◆**変化点が危ないのは言われている通り。東京統括センターができた途端に、融合と連携が一気に全てが進むとは考えていない。新たに出来るユニットについては、より慎重に考えていかなければならないと考えている。**

◆一度提案した内容を、環境など様々考慮した中で、より良い方向に変える判断はあるが、一度決めたことを修正する重みは受け止めている。

◆**関係する職場では丁寧な説明をしていく。**

**労使議論を積み重ねてきたものが新たな施策で変えられてしまう！**

**目的や意義を伝えるため、社員に丁寧な説明を求める！**

**そして、施策を担い現場で奮闘していく仲間とともに**

**働きがいのある職場を実現していくために、団体交渉を申し入れていきます！**